

2021年3月期第2四半期 決算説明資料

2020年11月11日

TDCソフト株式会社

1. 2021年3月期第2四半期 決算概況（連結）

2. 2021年3月期第2四半期 主要施策の状況

3. 2021年3月期 見通しについて

代表取締役社長 小林 裕嘉

4. 2021年3月期第2四半期 決算内容

取締役執行役員 管理本部長 大垣 剛

2021年3月期第2四半期の実績

- ・ 公共法人ITソリューション分野が堅調に推移し、前年同期をやや上回る売上高を確保
- ・ 高付加価値分野である次世代型SI事業の拡大により収益性が向上したことで前年同期を上回る営業利益を確保

トピックス

● 中期経営計画 『Shift to the Smart SI』 2019.4-2022.3

高付加価値SIサービスの追求

- ・ アジャイル関連事業 : 一昨年度から平均伸率84%増で順調に拡大
- ・ セキュリティ関連事業 : クラウド型セキュアアクセスサービス「Tegata」の販売開始
ローカル5Gを活用したSIサービス開発を見据えたPoC案件を受注

SIモデル変革の推進

- ・ オープンイノベーション活動 : 事業提携やM&Aなどのアライアンスを推進

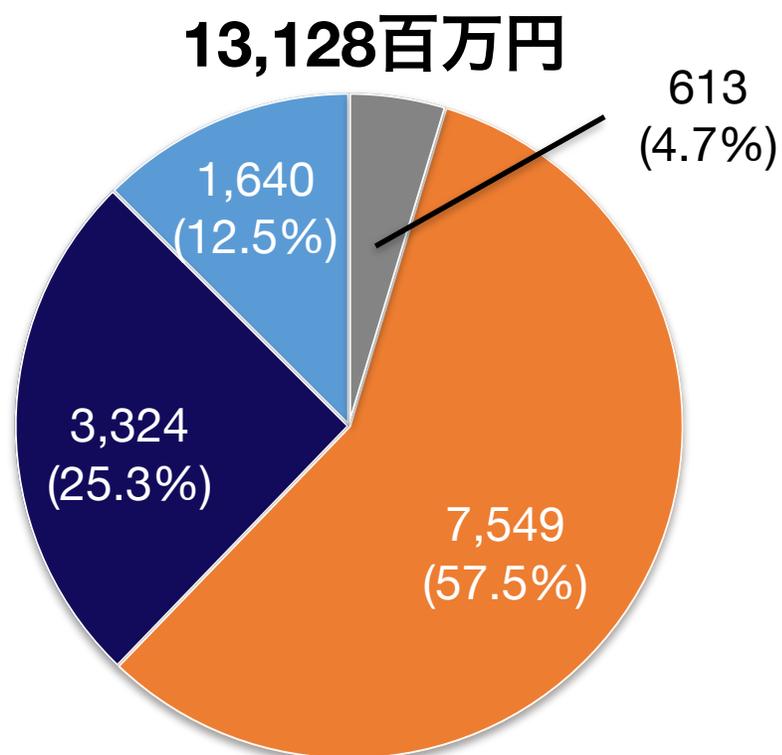
**2021年3月期第2四半期
決算概況（連結）**

(単位：百万円)	2021年3月期 第2四半期	利益率	前年同期比	2020年3月期 第2四半期
売上高	13,186	-	+0.4%	13,128
売上総利益	2,687	20.4%	+4.2%	2,580
営業利益	1,077	8.2%	+5.6%	1,019
経常利益	1,107	8.4%	+6.6%	1,038
当期純利益	745	5.7%	+8.5%	687

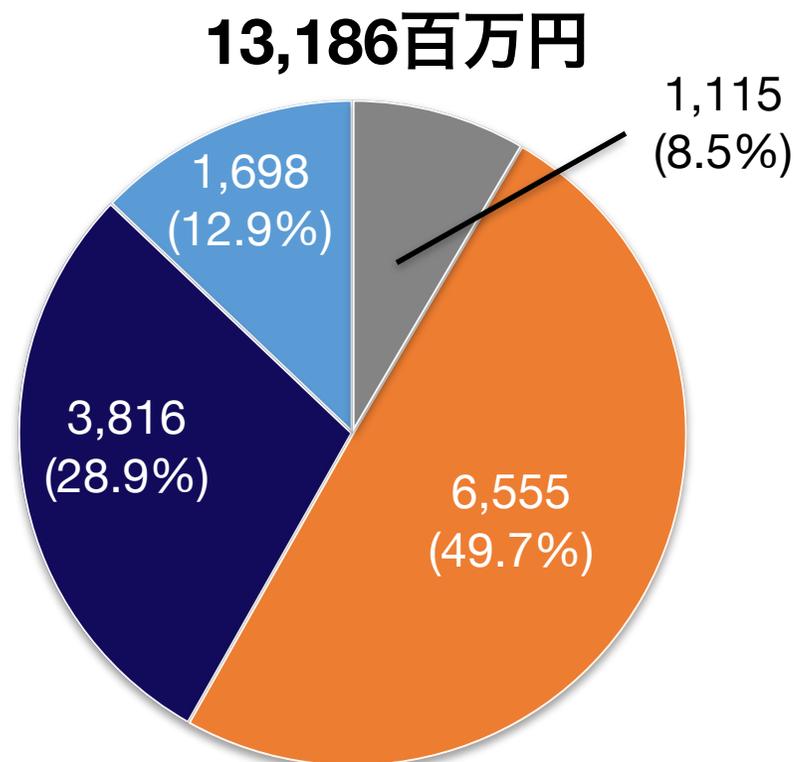
【ハイライト】

- コロナ禍により案件の延伸・中断や、対面営業の制限等の受注活動への影響が発生
- テレワーク等のニューノーマルへの対応に取り組んだことで、事業は安定的に推移
- 公共法人ITソリューション分野が堅調に推移し、前年を上回る売上高を確保
- 中期計画に基づく事業の高付加価値化により、営業利益率が向上

2020年3月期 第2四半期



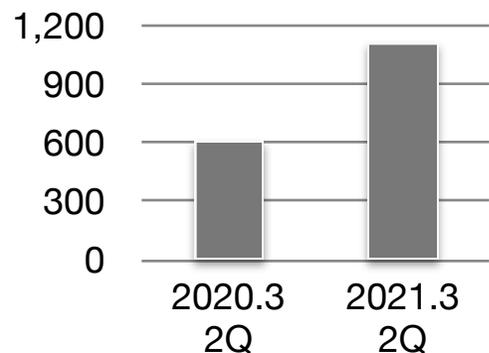
2021年3月期 第2四半期



- ITコンサルティング&サービス
- 金融ITソリューション
- 公共法人ITソリューション
- プラットフォームソリューション

※2021年3月期第1四半期より、今後の事業の方向性を踏まえ事業の区分を見直しております。
前年同期の数値は、変更後の区分に組み替えて算出しております。

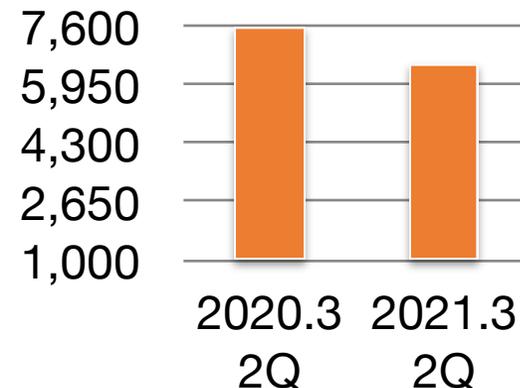
ITコンサルティング&サービス分野



BI/DWH、ETL等のデータ分析
基盤関連案件が堅調に推移

前年同期比81.8%増収

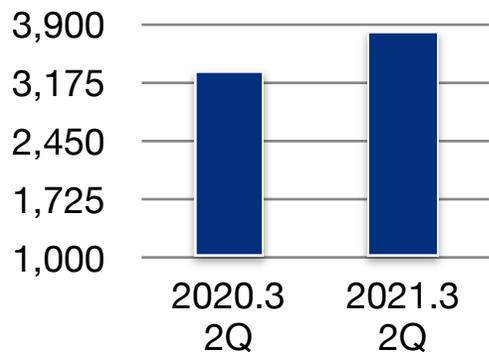
金融ITソリューション分野



ポイントカード関連案件が堅調
保険業向けの案件は収束

前年同期比13.2%減収

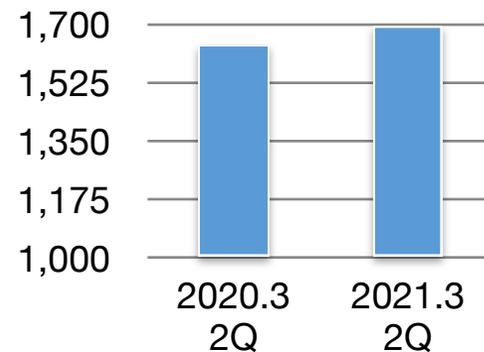
公共法人ITソリューション分野



製造業向けの開発案件等が
堅調に推移

前年同期比14.8%増収

プラットフォームソリューション分野



通信業や官公庁向けのITイン
フラ構築案件が堅調に推移

前年同期比3.5%増収

**2021年3月期第2四半期
主要施策の状況**

ビジョン

市場の潜在ニーズを捉え、デジタル技術や新たな潮流に対応した次世代型のシステムインテグレーション事業へと進化する

次世代型システムインテグレーターを目指す

高付加価値SIサービスの追求

重点戦略分野の事業の拡大・高収益化を推進

アジャイル
関連事業

セキュリティ
関連事業

SIモデル変革の推進

- YBC社のM&Aによりソリューション事業を強化
- 米国Scaled Agile ,Inc.やLTE-X社とのアライアンスを推進

中期経営計画

主要戦略

業績目標

2022年3月期に売上高300億円

うち高付加価値SIサービスを20%程度に拡大

経営方針

中期経営計画に基づく取り組みを推進し、
外部環境への柔軟な対応や、
推進上の諸課題に確実に対応・改善を図る

次世代型SI事業の全体概況について

次世代型SI事業は順調に拡大

売上高構成比11.2%に拡大（計画比123%）

次世代型SI事業の売上総利益率は前年同期比+0.5%

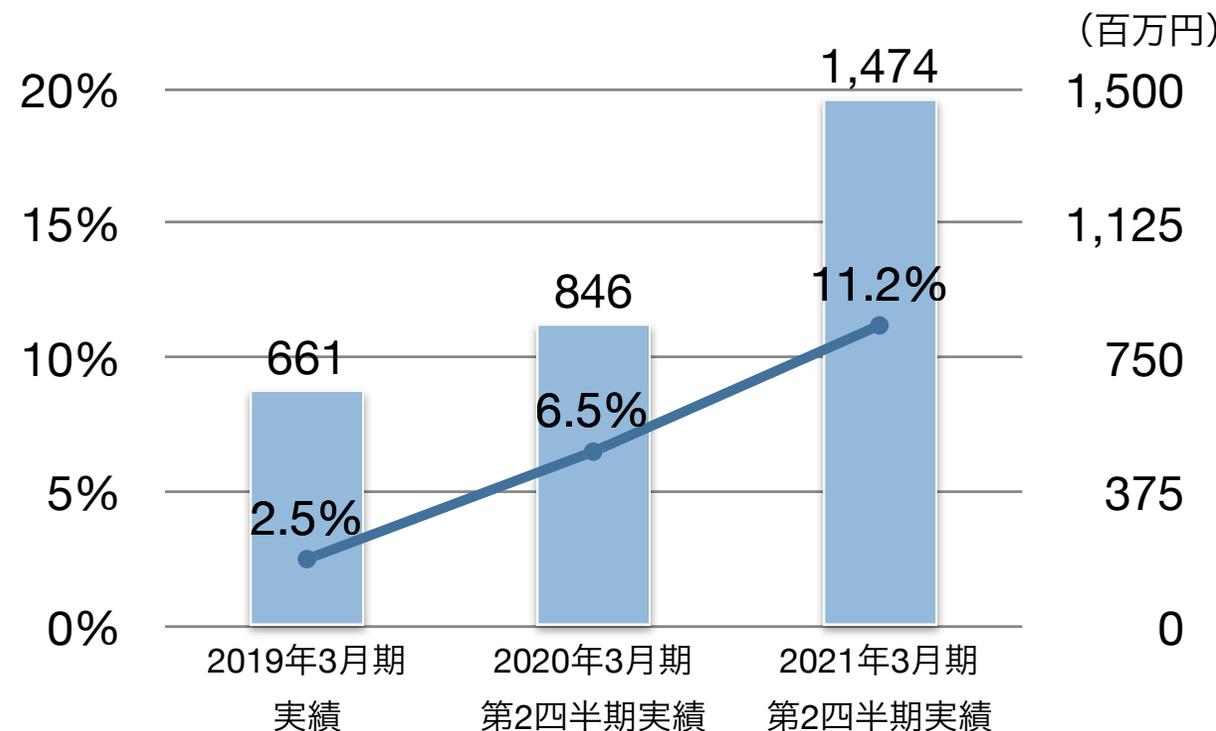
上記やコスト削減の取り組みにより 連結業績においても収益性が向上

売上総利益率 20.4%（前年同期比+0.7%）

営業利益率 8.2%（前年同期比+0.4%）

経常利益率 8.4%（前年同期比+0.5%）

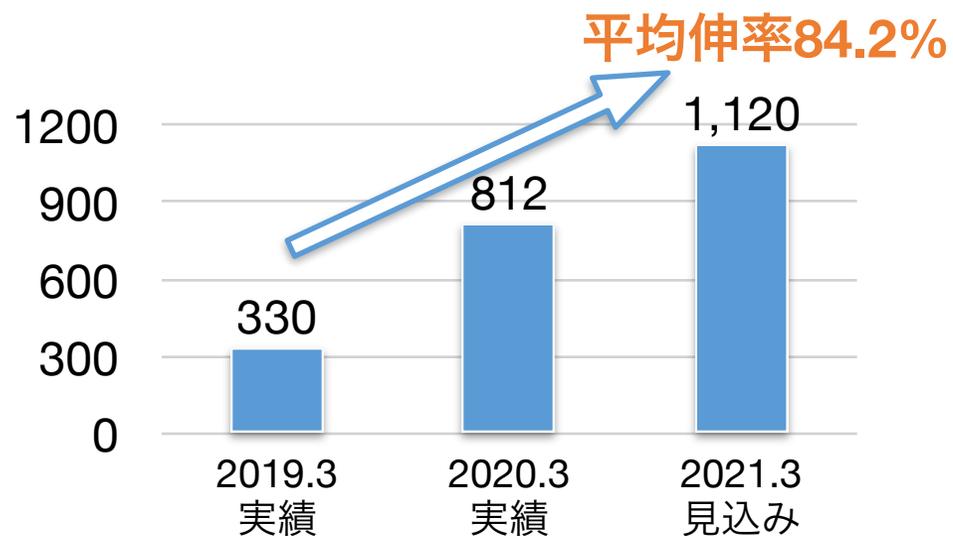
次世代型SI事業の売上高比率および売上高推移



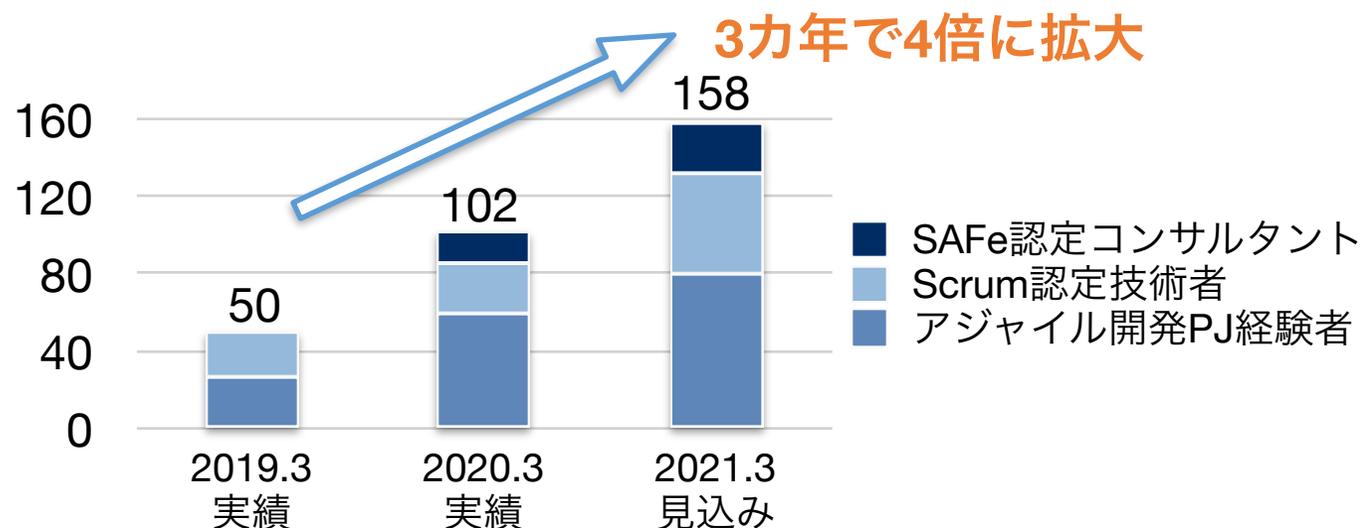
TOPICS：重点戦略分野 アジャイル関連事業

アジャイル関連事業は本格的に収益化が進み、売上高は順調に拡大
同事業の売上総利益率は前年同期から7.4%増加

アジャイル関連事業の売上高



アジャイル関連技術者数

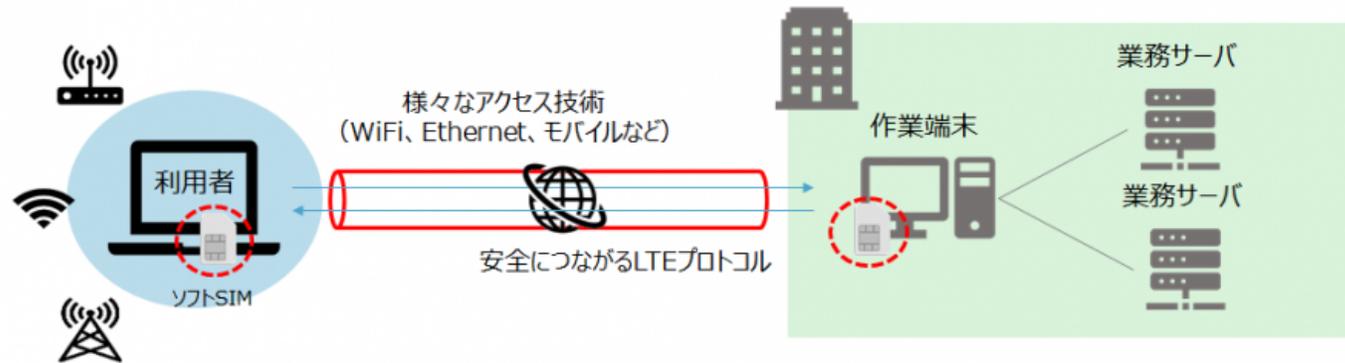


TOPICS：重点戦略分野 セキュリティ関連事業

新サービスの追加等の高付加価値化に向けた取り組みを強化

withコロナの需要を取り込む新サービスをリリース

社会的なリモートワークソリューションの需要増に対応するため
LTE over IP技術を活用したクラウド型セキュアアクセスサービス「Tegata」の販売を開始。



ソフトSIMとLTE over IPを活用し
IPネットワーク上に仮想プライベートLTEを構築

ローカル5Gを活用したSIサービスの開発を見据えて、PoC案件を受注

資本・業務提携を結んだLTE-X社および運輸会社と連携し、ローカル5Gに繋がる要素技術の獲得を目的としたPoC案件を受注。ローカル5Gの本格普及に先駆けサービス開発を継続して推進する。

TOPICS : SIモデル変革の推進

オープンイノベーション活動を通じたSI事業の高付加価値化や新サービス創出に向けた取り組み

アライアンスの推進状況



アジャイル関連事業



LTE-X Inc. セキュリティ関連事業



ソリューション事業

前期末にM&Aを行ったYBC社(非連結)はスムーズにグループに参画し**業績は堅調に推移**
同社の強みであるSAP関連ノウハウを活かしたグループシナジーの創出に向けた取り組みを推進

2021年3月期 見通しについて

足元の状況

- **顧客のIT投資姿勢には注視が必要**

- ・ 顧客の事業環境の不透明さから、新たなIT投資は慎重な姿勢が当面継続されると予測される。

- **デジタル化の潮流が加速したことにより、次世代型SI事業のさらなる拡大が期待される**

- ・ 社会的にデジタル化の遅れに対する認知度が上昇したことにより、デジタル化のニーズは一段と高まっており、次世代型SI事業のさらなる拡大を期待。

事業リスク

- **稼働率の低下リスク**：プロジェクトメンバー(取引先、当社、BP社)や就業先での罹患者発生に伴う出勤停止措置等。
- **サービス供給能力の低下リスク**：感染症に起因してパートナー企業との協力体制に変化があった場合等。
- **受注高の減少リスク**：取引先との商談機会の回復が遅れる場合や、IT投資抑制による新規案件の減少等。

(単位：百万円)	2021年3月期 業績・配当予想	利益率	前年同期比	2020年3月期 実績
売上高	27,800	-	+0.0%	27,795
営業利益	2,250	8.1%	+1.9%	2,206
経常利益	2,310	8.3%	+2.0%	2,265
当期純利益	1,540	5.5%	+2.6%	1,500
1株当たり 当期純利益	63.90円	-	+2.6%	62.29円
配当予想	24円	-	-	24円

※当業績予想については新型コロナウイルス感染症の再拡大による国内の緊急事態宣言など現時点で顕在化していない事象は織り込んでおりません。

2021年3月期第2四半期 決算内容

- 財務諸表
- 売上高分析
- 受注高・受注残高
- 営業利益分析

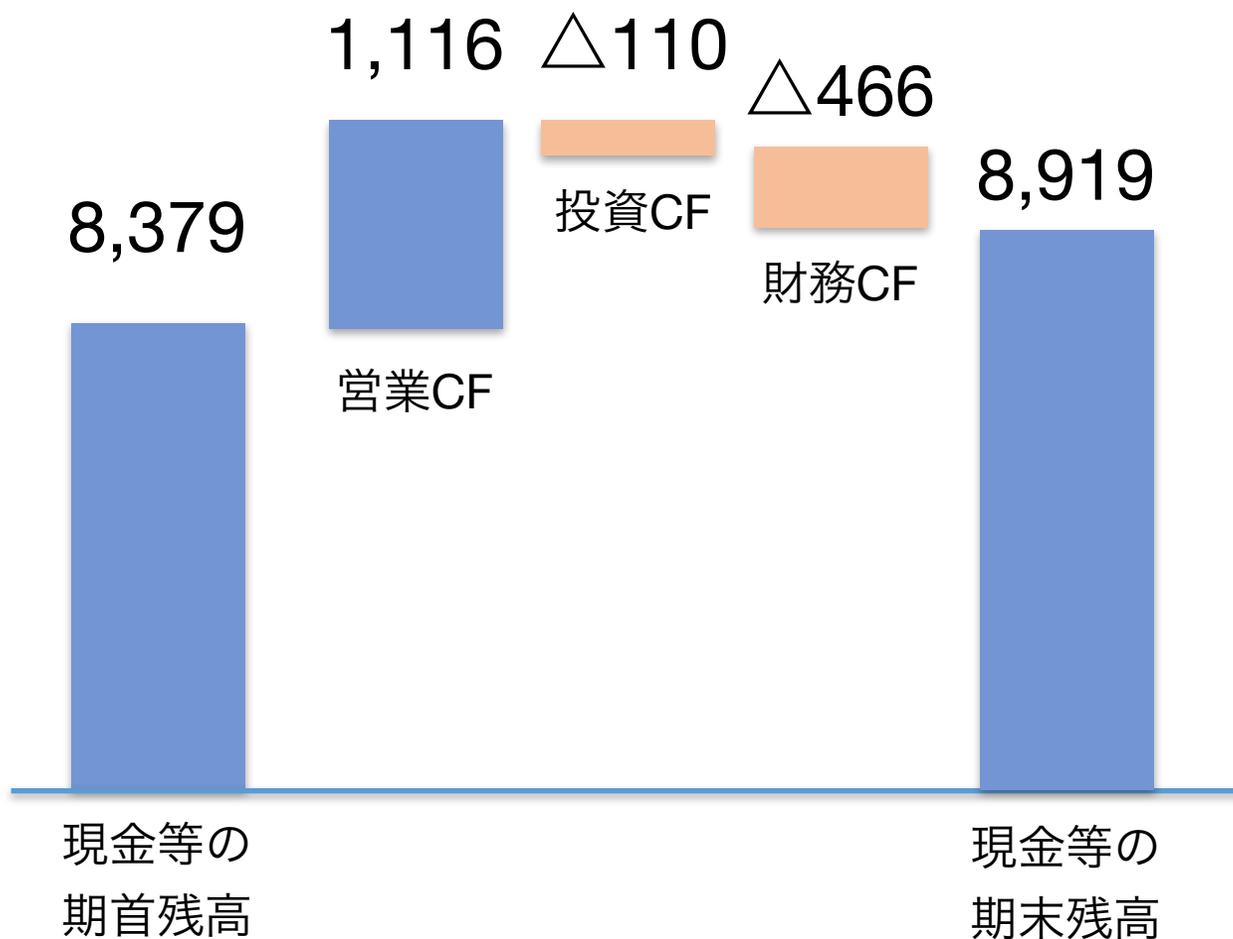
損益計算書

(単位：百万円)	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減率
売上高	13,186	13,128	+0.4%
労務費	5,191	4,902	+5.9%
外注費	5,070	5,589	△9.3%
その他経費	383	418	△8.3%
仕掛増減高	△146	△361	+59.5%
売上原価	10,498	10,548	△0.5%
売上総利益	2,687	2,580	+4.2%
販管費及び一般管理費	1,610	1,560	+3.2%
営業利益	1,077	1,019	+5.6%
営業外収支	29	18	+58.3%
経常利益	1,107	1,038	+6.6%
税引前当期利益	1,107	1,038	+6.6%
当期純利益	745	687	+8.5%
EPS	30.94	28.53	+8.4%

貸借対照表

(単位：百万円)	2021年3月期 第2四半期末	2020年3月 期末	増減率
資産合計	17,130	16,652	+2.9%
流動資産	13,210	13,463	△1.9%
固定資産	3,920	3,188	+23.0%
負債合計	4,211	4,544	△7.3%
流動負債	3,999	4,347	△8.0%
固定負債	211	197	+7.1%
純資産合計	12,919	12,107	+6.7%
負債純資産合計	17,130	16,652	+2.9%
自己資本比率	75.4%	72.7%	-
1株当たり純資産	536.10	502.43	+6.7%

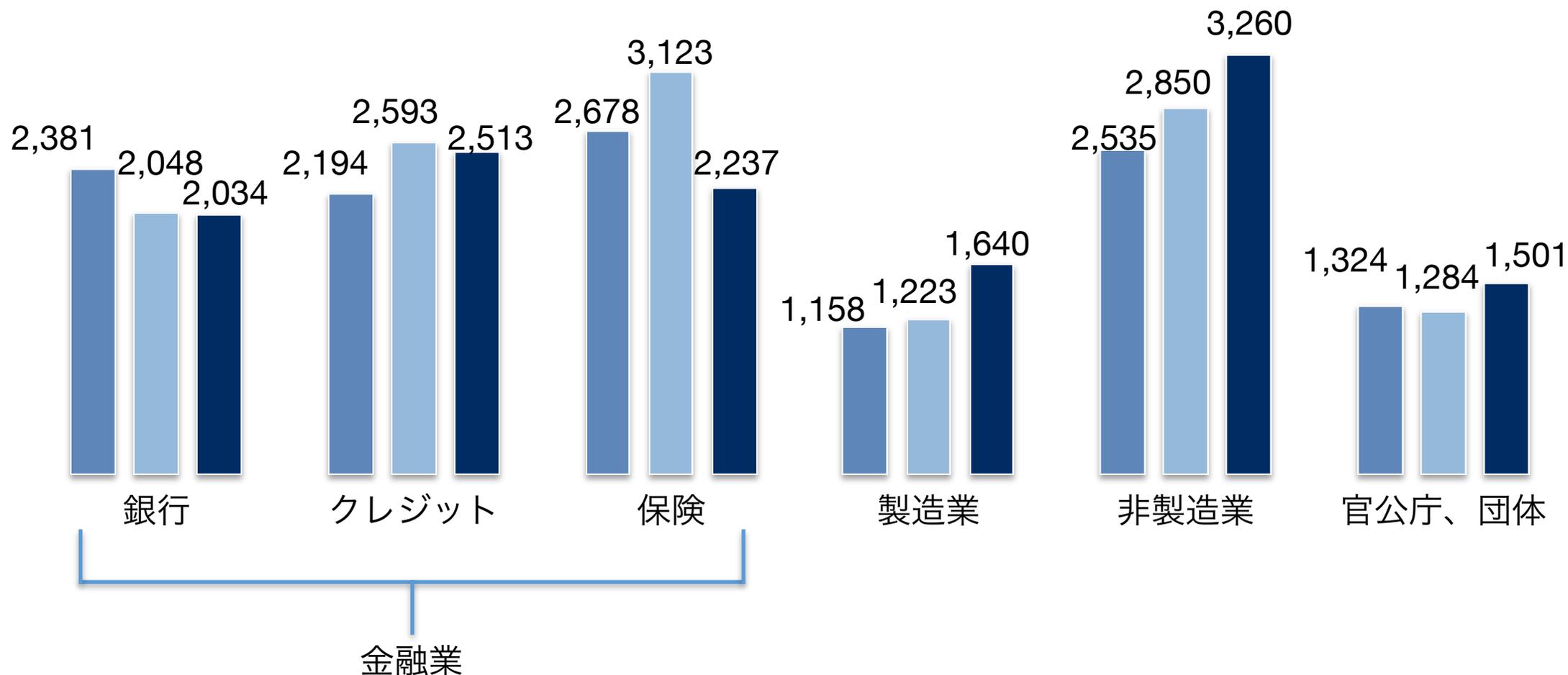
キャッシュフロー計算書



現金等の期首残高	8,379
税引前四半期純利益	1,107
減価償却費	41
売上債権	910
仕入債務	△146
棚卸資産	△146
未払金	△74
未払費用	△228
その他	73
法人税等	△275
営業CF	1,116
有形固定資産取得	△24
投資有価証券の取得	△105
投資事業組合分配収入	7
利息及び配当金	19
事業譲渡による収入	-
その他	-
投資CF	△110
短期借入金増減	124
配当金支払額	△587
その他	△3
財務CF	△466
現金等の期末残高	8,919

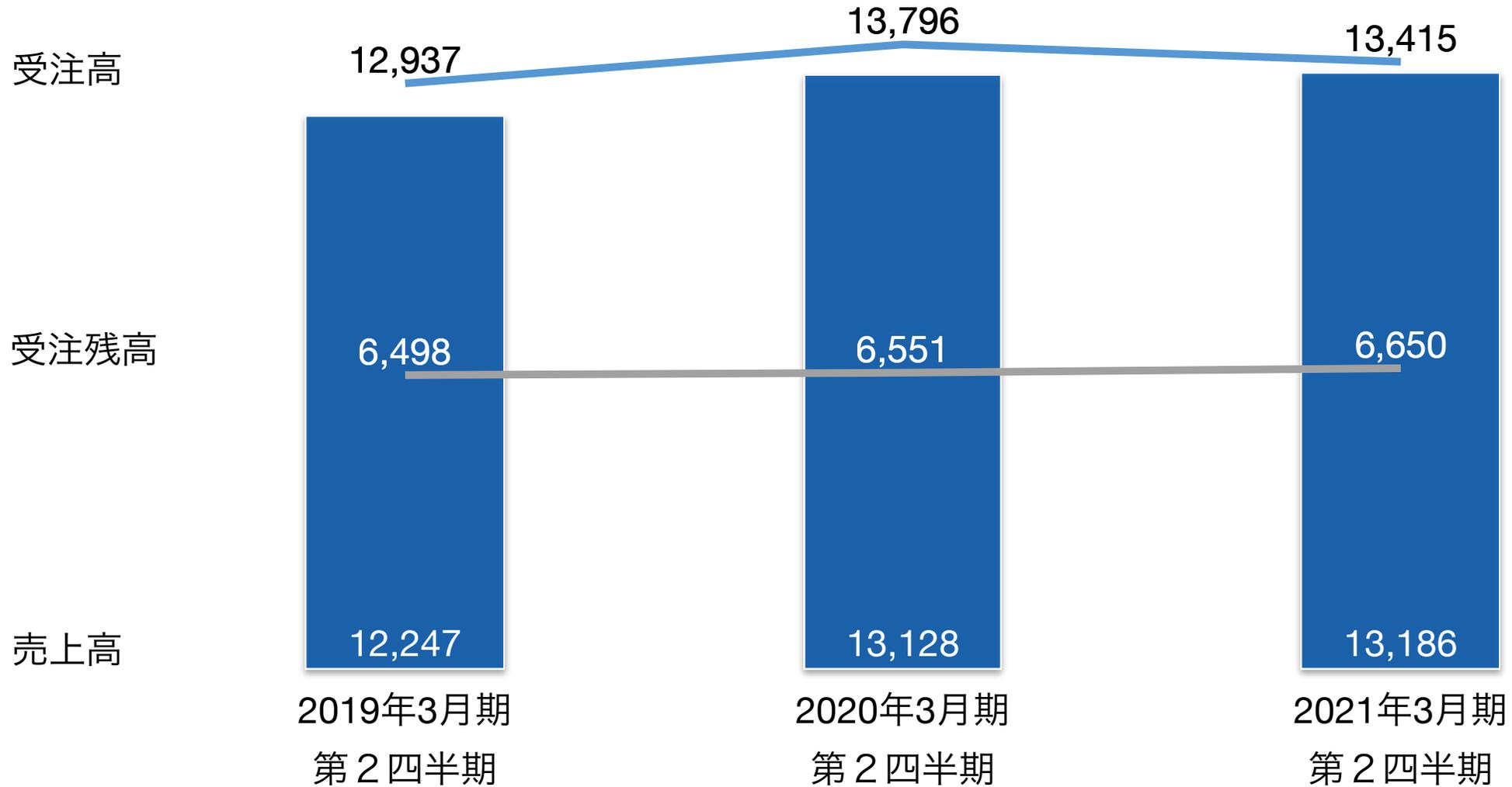
顧客業種別売上高概況

(百万円) ■ 2019年3月期第2四半期 ■ 2020年3月期第2四半期 ■ 2021年3月期第2四半期

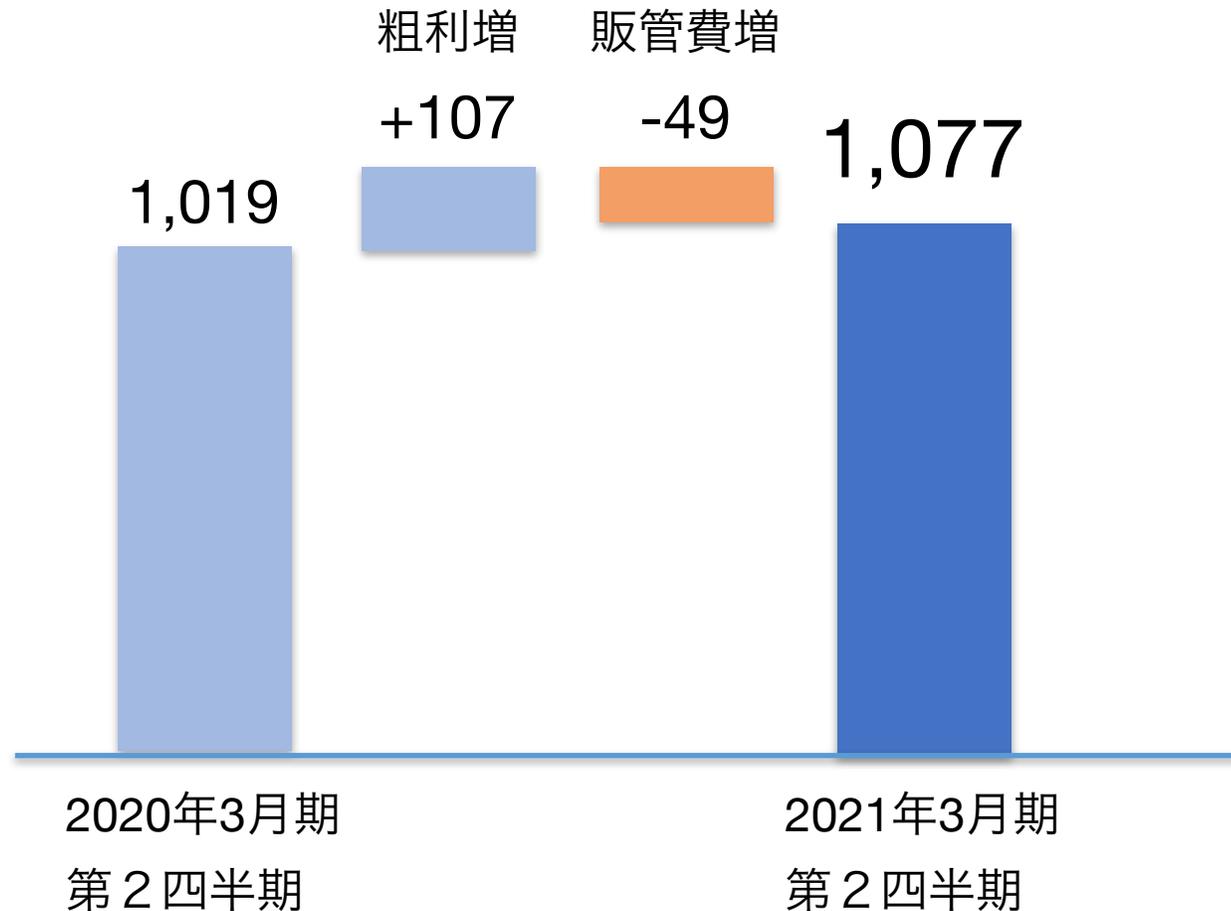


受注高・受注残高状況

(百万円)



(百万円)



< 粗利益 >

売上高の増加及び事業の高付加価値化による収益性の向上により増加

< 販売管理費 >

コロナ禍に伴いコスト減少も、新入社員の採用増や人材育成投資の強化により増加

TDCソフト株式会社

<https://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

TDCソフト株式会社

<https://www.tdc.co.jp/>